

## 各教科の目標設定の手順

- (1) 実態把握 ①アセスメント  
②各教科の習得状況や既習事項の確認（個別の指導計画）
- (2) 学習指導要領（知的障害者である児童生徒を教育する特別支援学校）  
の各教科の目標に照らし、児童生徒の学習状況が何段階相当か把握する。
- (3) (1) (2) を基に目指す資質・能力を検討し、各教科の目標及び内容  
の系統性を踏まえ、年間指導計画を立て、単元目標を設定し、指導の重  
点化を図る。

子どもがこれまで学んで経験してきたこと、これから学  
ぶことを**教科の視点で段階的に理解し、順序を踏まえて**、  
「少し努力すれば達成できること」を目標とし、授業内  
容・指導の手立てを工夫しましょう！



## 本校で参考になっているアセスメントツール

## (1) 自立活動チェックリスト

長崎県立長崎特別支援学校の実態把握チェックリスト  
→自立活動の6区分に分けて発達段階を知るためのアセスメント

## (2) 感覚と運動の高次化チェックリスト

奈良県立奈良養護学校が感覚と運動の高次化理論を元に作成。発達の構造や  
流れを理解した上で、発達段階に応じた教材に結び付けることができる

## (3) 学習到達度チェックリスト

Sスケール（教科の視点による尺度）の  
考え方によって構成された行動項目の一覧  
横軸：教科（国語・算数）の視点  
縦軸：各観点に沿って行動項目を  
配置した発達段階  
→教科の視点で実態把握ができるため、  
目標設定につながりやすい。



（徳永 豊 編著、2014）

## 抽出児童Aについて

小学部4年生



脳性麻痺（左片麻痺）操作は主に右手で行う、ダンディウォーカー症候群、  
未熟児網膜症（右目視力0.05）、対象物に顔を近づけて見る  
症候性てんかん（眼振を伴う発作が頻繁にある）  
発語は喃語程度、教員の声かけや働きかけに笑顔で応じたり、表情や動作で要求を  
表出できる。  
新版K式発達検査 全領域0歳8ヶ月（3年生7月実施）

## 学習到達度チェックリストを参考にしたアセスメント

算数（外界の知覚認知）の項目

スコア8まではほぼ○（達成） スコア12、18については、いくつか△（芽生え）  
＜スコア8の段階・意義＞

言葉への応答、物を介したやりとりの芽生え、音声や身振りによる働きかけ、数量への注目、  
活動と結果のつながりへの気づき、探索的操作、姿勢の保持・変換

## 学習指導要領（知的障害者である児童生徒を教育する特別支援学校）

## 1 段階の考え方

主として知的障害の程度は、比較的強く、他人との意見の疎通に困難があり、日常生活を営むのにほぼ常時援助が必要である者を対象とした内容を示している。

→主として、教師の直接的な援助を受けながら、児童が体験し、事物に気づき注意を向けたり、関心や興味をもったりすることや、基本的な行動の1つ1つを着実に身に付けたりすることをねらいとする

## &lt;算数科の内容の構成&gt;

1 段階 「A数量の基礎」「B数と計算」「C図形」「D測定」

2・3 段階 「A数量の基礎」「B数と計算」「C図形」「Dデータの活用」

## 算数科1段階「A 数量の基礎」

【ア】 具体物に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

（ア）次のような知識及び技能を身に付けること。

ア 具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすること。

イ 目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指を差したりすること。

（イ）次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

ア 対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、緒感覚を協応させながら捉えること。

## 学習到達度チェックリストを活用した目標設定の手順

①学習指導要領の知的障害の者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の算数科の目標・内容に対象児の実態を照らして、何段階相当であるかを把握する。

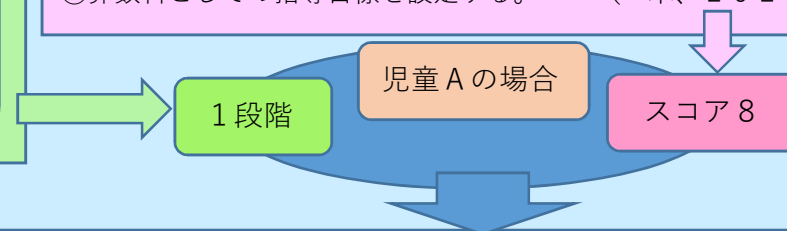
**\*学習指導要領の段階は、幅が広いので、さらに詳細な実態把握を行うが必要になる。**

②チェックリストで対象児の到達度である「スコア」を把握する。

③上記②の「スコア」とその「スコア」の発達段階の意義を参照し、なぜ対象児は①の「内容の段階」であるのか、実態の背景を考察する。

④上記③を踏まえ、**対象児が次の「内容の段階」に至るためにはどのような力を育む必要があるかを検討する。**

⑤算数科としての指導目標を設定する。（一木、2021）



## 児童 A の算数科の指導目標を設定しよう

## チェックリストの次の段階の各観点の行動項目の中で、芽生えが見られるもの

<スコア12>

挨拶の後に食べるなど、順番に合わせて行動する、2つのコップから隠したものをみつける 【数と計算】

よく知っている歌やリズムのテンポの変化に表情を変える、コップの水が増えるのに注目する 【量と測定】

カップに玉を入れたり、出したりする 【図形】

<スコア18>

大人の援助で「全部入れる・出す」を行う、ゆっくりや止まるなど大人の行動に合わせる 【量と測定】

## 学習到達度チェックリストの次の段階の意義

<スコア12の段階・意義>

言語指示への応答、物を介したやりとりの拡大、  
発語、手指の巧緻性、移動

<スコア18の段階・意義>

言葉の意味理解、意図の理解と共有、要求の明確化



## 児童 A の算数科の指導目標を設定しよう

## 学習指導要領（1段階）

## 育成を目指す資質・能力の3つの柱に基づいた目標設定



- ・具体物の存在に気づいて、目で追ったり、触れようとする  
【知識・技能】【学びに向かう力、人間性】
- ・具体物の「有」「無」に気づき、見えなくなった物をさがそうとすることができる  
【思考力・判断力・表現力】【学びに向かう力、人間性】
- ・身の回りの物の形や数量の違いに関心を向けることができる  
【学びに向かう力、人間性】

## 年間指導計画の作成

|     |                                                                                                                                                                                           |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 年間  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いちにさんのうた」・・・1から10までの数唱を聴いたり、画面のイラストが増えることに興味を持ったりする</li> <li>・絵本や紙芝居に出てくる具体物・・・具体物の「有」「無」に気づき、注目や追視をしたり、手で触れようとしたり、見えなくなった物を探そうとしたりする</li> </ul> |
| 1学期 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かたちのたび」（うた）・・・様々な形やその形の具体物を知る</li> <li>・「まるいものなんだ」（かみしばい）・・・形</li> <li>・「まるちゃんさんかくちゃんしかくちゃん」（かみしばい）・・・形</li> </ul>                               |
| 2学期 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「たまごのうた」（うた）・・・大小のたまごの手遊び歌</li> <li>・「おおきなたいこちいさなたいこ」（楽器）・・・大小の太鼓をたたく</li> <li>・「たまごのあかちゃん」（絵本）・・・数・大小</li> </ul>                                 |
| 3学期 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「すうじのうた」（うた）・・・数字</li> <li>・「のーびたのびた」（かみしばい）・・・長さ</li> <li>・「ぎったんばっこん」（絵本）・・・数・重さ</li> </ul>                                                      |

## 指導内容と教材の工夫

1学期・・・身の回りのいろいろな形に興味を持ち、注視や追視をしたり、触れたりして、形の違いに関心を向ける

- グループ学習 紙芝居で○△□の身の回りの形を見せたり、具体物に触れたり、操作したりする
- 個別学習・・・児童の実態に合わせた課題に取り組む（下の☆マーク）

## &lt;スコア12&gt;

挨拶の後に食べるなど、順番に合わせて行動する→目玉焼きのおもちゃを皿に入れ、手を合わせて「いただきます」をしてから食べる（ふりをする）【数と計算】

☆2つのコップから隠したものをみつける→2つの容器から具体物の入ったものを選ぶ【数と計算】

コップの水が増えるのに注目する→風船がふくらむ様子を注視する【量と測定】

カップに玉を入れたり、出したりする→バスケットボール（小さい物）をゴールに見立てた箱に入れる【図形】

## &lt;スコア18&gt;

☆大人の援助で「全部入れる・出す」を行う→洗濯バサミをはずす、ボールを入れる、棒さしの玉をとる【量と測定】

## &lt;教材に注目させるための工夫&gt;

- ・できるだけ目の前で提示し、注視できたことを確認してから、ゆっくり動かして追視を促す。
- ・はっきりした色や、キラキラ光る素材などを使う。
- ・紙芝居や絵本などの平面だけでなく、実際に触れたり、操作しやすい立体の具体物を使う。
- ・音が出る教材を使う。iPadやVOCA、楽器など



# 1学期 形の学習で使用した教材（グループの授業）

紙芝居などに出てくる具体物を用いて、注目したり、操作したり、見立て遊びをしたりできるように工夫する

## ①挨拶の後に食べるなど、順番に合わせて行動する【数と計算】

目玉焼きのおもちゃを皿に入れ、手を合わせて「いただきます」をしてから食べる



## ②コップの水が増えるのに注目する【量と測定】

風船が膨らむ様子に注目する（だんだん体積が増える様子）



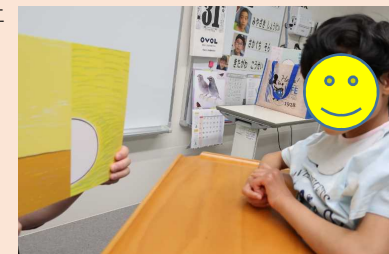
## ③カップに玉を入れたり出したりする【図形】

バスケットボール（小さい物）をゴールに見立てた箱に入れる



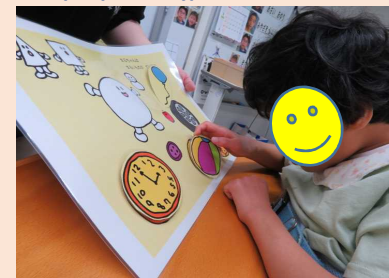
## <使用した紙芝居>

「まるいものなんだ」とよた かずひこ作  
童心社



「まるちゃんさんかくちゃんしかくちゃん」

<https://ehon.alphapolis.co.jp/content/1406>



## 個別の教材（児童Aの算数の目標に合わせた教材）

### ①2つのコップから隠したものをみつける

→2つの容器から具体物の入ったものを選ぶ【数と計算】

どっちにかくれたかな？

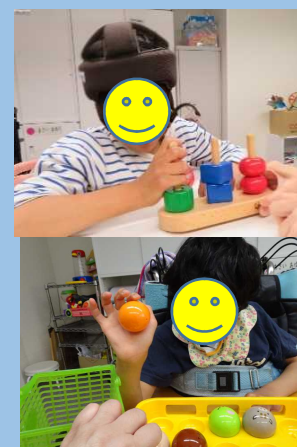


<提示の方法>

- ①大きさや色の異なるものを用いる
  - ②同じ大きさ・色のものを用いる
  - ③利き手側に正解を入れる→反対側  
難易度 易→難
  - ④見ていることを確かめて、入っている方を後で閉める
- \*間違えさせない。  
誤った方に手を伸ばしたら、教材をひっこめたり、蓋が開かないようにする

### ②大人の援助で「全部入れる・出す」を行う

→棒さしの玉をとる、ボールを入れる、洗濯バサミをはずす【量と測定】



- ・洗濯バサミや玉を入れる別の容器を準備する。
- ・全部入ったことや、なくなったことがわかるように見せて、「おしまい」や「ぜんぶできたね」などの声かけをする